



尚 操



〈発行所〉

鳥取県立倉吉西高等学校
尚 操 会

〒682

鳥取県倉吉市秋喜20
倉吉西高等学校内

印刷 (有) 矢積印刷



花・水・木

健康の為に、日曜日の朝打吹山の散策をする。四百段の長谷坂の石段を登る。八十八ヶ所より霊峰大山を望む。広がる大地、小鴨川の向う秋喜に西高がある。余戸谷町より移転して二十年余、年々環境整備され樹木も茂り、申し分ない学び舎のなか、国際交流と新しい西高の姿を見る。母校の思いをあとにして、名刹長谷寺の山門をくぐり本堂へ、七二年の建立とか、昔々の事である。「マカカロニキヤソワカ」と、十一面観音様に手を合せる。伝説の絵馬は今は文化財として保存され目に来ない。長谷寺をあとに展望台から遊歩道へ、新緑をふるわせる、うぐいすの声、思わず、「上手ね」と声を掛けてしまう。打吹山の早春は、こぶし、木蓮の白い花から始まり、かれんな姫百合、鳴子百合に足を止める。桜、椿、つつじ、ふじ、みやこわすれ、しゃが、そして、石楠花、あざみ、あじさい、ほととぎすと四季折々楽しんでくれる。全国公園百選に入っている打吹公園は全山がすばらしい森林公園で誇れる郷土の財産です。大事にしていきたいですね。

母校の増々の御発展を打吹山の展望台よりお祈りしております。

(倉女三十四期 岩瀬暁子)

みなさんと明日の尚操会を



昨年度の総会で、尚操会の副会長になりました三谷昇です。よろしくお願ひします。

副会長 三谷 昇

今年母校を卒業して、二十三年目を迎えました。地元に住みながらなかなか母校に足を運ぶこともなく、ましてや尚操会活動に関わることも余りありませんでした。しかし、私にかかわる多くの子供達が母校にお世話になるようになったことや四十路になった自分を振り返ると、今の私を作っていただいた母校に何かの形として報いる時期だと自覚した次第です。多くの先輩からも声をかけられたこともあり、微力な私ではありますが、何か役に立てばと思ひお引き受けいたしました。

感じているところです。さて今年度は、母校八十周年記念の年です。これを記念する事業も、これまで準備を進められてきた中島会長をはじめとした多くの先輩方や後輩の方々の母校に対する思いが、ひしひしと伝わるものとなつています。各事業も着々と進んでおり、尚操会館改修・セミナーハウス周辺舗装・彫像設置、また多くの方々から資料や原稿を寄せていただいた記念誌の編纂、(この編集を中心的に進められた会員でもある竹ノ内先生のご尽力には、敬意を表したいと思います。)もほぼ完成に近づきました。十一月に予定されている記念式典には、事業の完結を見ることができると確信しております。

この式典に先立つ今夏の総会は、道祖尾副会長が「倉女四十周年倉西四十周年という『尚操会新時代』』と言われるように、今後の尚操会にとつて大変大事な総会になると思ひます。母校の発展と会の更なる飛躍にむけて、多くの若い会員のみなさんにも参加していただき、多くの先輩方との交流の中から、明日の尚操会を作っていきたいと思ひます。

日々きらめいて

五十年のタイムトンネルを抜ける思いで、岡山・鳥取の県境峠を下る。車の中の私は、まるで浦島太郎の心境であった。私にとつては昭和二十年八月第一回クラス会以来、三朝における再会である。三三五とホテルのロビーに集いし友、総勢四十三名、再会の歡びの声がいつぱいにこだまする。半世紀もの時代の流れは、どこにあつたのだろうか。私は不思議な感覚にとらわれた。手を握る、肩にふれる、これだけで幼い頃の温もりが伝わってくる。♪清きまどいの…直き操の…

平成5年11月14日 於 万翠楼 集う!!

高き理想の… われら友と胸を躍らせ心を通わせた青春の日々の心の温もりなのだろうか。六十才を幾つかすぎると、一年があつという間に経つてしまう。盆と正月がかけつゝ、してみたいに。先人曰く、「これは人間が人世に慣れ親しんだ結果である。子どものように毎日が未知な世界への第一歩であれば、日々は経験

の集積で長いものとなる」と。「十八才に戻る会」と銘打つての集り、卒業五十周年を記念しての一泊大集会です。倉女廿九期生クラス会の特徴!! 在学四年間の諸々の写真をスライドに編集しての写真会!!そして特にこんな掘出し物がありましたので、ここに披露させて頂きます。 米山重子(藤本)

十八才に戻る

三宅 良枝(有吉)

拜啓 軍國多事の折柄益々御健勝御精勵の段慶賀の至に存上候陳れは倉吉高等女學校は大正三年六月創立以來地方官民各位の御支援に依り校運漸次發展し昭和二年度よりは生徒定員六百名各學年三學級編制と相成り今日に及び申候。然るに時勢の進歩と共に逐年應募者増加致し遂に本年は其の數三百十餘名に上り正に縣下女子中等學校中第一の難關と目せられ候が此の情勢は今後一層激甚を加ふるものと推測せられ申候。依て兩會は茲に紀元二千六百年記念事業として明年度より定員を八百名に増員し毎年二百名宛募集することに改め志望兒童の入學難を緩和し地方女子教育の振興に寄與する様決議致候。而して之に要する二階建校舎一棟及び附屬建物の増築經費凡そ三萬七千圓は其の一部を卒業生の醸出に俟つの外大部分は東伯郡内外有志各位の御賛助を仰ぎ是非とも所期の目的を貫徹致度存念に御座候就ては時局柄御出費御多端の際甚だ恐縮の儀は存じ候へども左記御清覽の上何卒格別の御援助賜はり候様厚く懇願申上候先は略儀ながら寸楮を以て御依頼申上度如斯御座候 敬具

昭和十五年 月

鳥取縣立倉吉高等女學校保護者會長 松田清松
鳥取縣立倉吉高等女學校尚操會會長 山田徳次

提供 杉山市子(木山)

みなさまの熱い母校愛と数々のご協力に感謝

学校長 永江重昭



あやめの季節となりまして。会員のみなさまにはお変わりなくご活躍のこととおよろこび申しあげます。私こと、二年前まで四年間、教頭としてお世話になりましたが、今度は校長として勤めさせていただきますことになりました。どうぞよろしくお願ひ申します。

着任来、前庭を眺めながら生活しております。窓外のシラカシ、ケヤキ、クスノキ、ヒマラヤ杉など、随分と立派に生長し、さわやかな緑の風に梢が揺れています。サクラ、ミズキも見事でした。

みなさまをはじめ、歴代の校長先生、諸先輩、保護者のご協力により、進路実績の躍進、生徒会各部の活躍、英語コースの充実と国際理解の推進、ともに生きる福祉教育の進展など、本校の特色と活力ある教育の実践は、今や、地域社会の期待と信頼にますます応えつつあることはまことに喜ばしく、あつくお礼申しあげます。

これらすべては、七十周年の記念植樹としてお造りいただいたものです。あれから十年、今年が創立八十周年の節目を迎えることとなりました。

おもえば大正三年、倉吉町立実科高等女学校として設立、余戸谷町の地にあり、戦前・戦中の激動の時代、女子教育の殿堂として数多くの人材を輩出して参りました。戦後、学制改革を経て名も倉吉西高と改め、秋喜の地に移り、生徒憲章を策定、その「立志」を校是に現在に及びました。

このたびは記念事業の推進に当たり、会員のみなさまに絶大なご協力を賜わり、多額の寄付をお寄せいただきました。お陰をもちまして環境、施設整備、記念史編纂等、記念事業のあらかたも終えさせていただき、この十一月には記念式典を催し、輝かしい節目をとにも祝うこととしております。

わが尚操会の活動も、九州支部の結成など県外支部も拡大充実し、県内各支部の交歓も含め、ますます、その輪の広がることはまことに頼もしい限りです。

みなさまの熱い母校愛と数々のご協力に感謝し、一層の努力をお誓いし、山々のお礼とさせていただきます。

倉女29期生50周年に



置かれた時代環境、受けた教育によって人間は形成されて行く。

戦後の耐乏期に私は病を得て約十年間の闘病生活を送ることにしたが、それが機縁となつて、健康回復後は看護の道に進むことになった。全く思いもかけなかった人生展開となり、私の生の半ば近くを占める年月をこの仕事に携わることになった。戦争・病気を人生の半ばに経験したことがその後の私のあり方を方向づけたと思う。恵まれた時代でもなく、幸せともいえない前半生を送った私であるが、その年月にはいろいろな出会いがあり、見えな

遙けき年月

太平洋戦争最中の昭和十八年に卒業の私は昨年卒業満五十年を迎えている。一口に五十年と云うがまことに「遙けき年月」である。私達の育った時代は小学校五年の日華事変に始まり、四年後の太平洋戦争突人と国難の時代で、軍国主義一色に染まり、最も感受性の強い青少年期の戦争体験は一生消えない影響を残していると思う。

い力の導きがあったことを思う。今後の人生の予測はつかないが、年齢に縛られず学び、楽しみ、人の役に立つ人生を送れたら最高と思う。

森 明子

さわらび寮廃止



昭和三十年より西高生の野外活動の場として利用した「さわらび寮」も思い出を沢山詰めて昨年度末をもって廃止しました。

東伯支部総会開催

平成五年十二月五日(日)、午後一時から東伯町福祉センターにおいて、二十数名の支部会員が参加して総会が開催された。

倉光静子支部長の挨拶に引き続き、学校側から國本教頭の挨拶と母校の現況について説明があった。また、学校紹介のビデオを視聴し、移転後の学校の様子を知った。会員手作りの菓子も出され、大正琴の演奏、舞踊も披露された。最後に役員を改選して総会を閉じた。



母校はいま…

部活

弓道女子

全国ベスト8

平成五年度の全国大会での本校活躍をみると、全国高等学校総合体育大会で、弓道女子団体ベスト8、全国NHK放送コンテストで、テレビ番組部門4位入賞を果たしました。

県新人戦の団体戦では、弓道男子団体優勝・弓道女子団体2位、ホッケー2位、バスケット女子3位、バドミントン女子団体3位と活躍しました。また個人戦では、弓道男子3名・女子1名、水泳4種目、剣道女子2名、陸上男子1名、卓球男子1名が入賞し、各部門とも成績向上を目指し冬の練習に励んで参りました。

新年度に入り今日までに、中国

大会県予選が行われ、剣道女子団体、弓道男子・女子団体、バスケット女子と卓球男子個人1名、剣道男子個人2名、女子個人2名、弓道男子個人2名、女子個人4名が中国大会出場を獲得しました。また得失点差で2点に泣いたハン



平成六年度

尚操会総会案内

とき 八月二十一日(日) 十時から
 ところ 倉吉シティホテル 会費 三、〇〇〇円
 お誘い合せ、多数ご参加下さい。

ドボールなど紹介できなかつた部も含めた、県高校総体(6/4/6)での活躍と、中部地区で優勝した硬式野球、文化部の今後の活躍を期待しているところです。

進学

進学数

大飛躍

平成六年度入試は、前年度に引き続き不況に大きく影響され、私大志願者の減少、国公立志望が更に増加するという傾向の中で行われました。しかも、センター試験の平均点が前年度より三十点近く下がる難しさ。国公立志願者にとつて、量の面でも質の面でも厳しいたたかひとなりました。

そんな中で、西校卒業生は本当によく頑張ってくれました。私大の方もめざましい活躍が目立ち、超難関校を次々と突破、過去最高であった昨年度実績を更に上回る力を示してくれました。

合格先	合格数(前年数)
国公立大学	35 (24)
私立大学	119 (112)
国公立短大	25 (21)
私立短大	53 (90)
医療関係	34 (16)
各種専門	30 (32)
就職	19 (36)
浪人	90 (59)

関西支部 第3回総会

とき 平成7年7月16日(日)
 受付 10:30~15:00終了
 会場 京都市中京区木屋町松原上ル
 “鮎 鶴”
 (16日 祇園祭宵山の日)
 (17日 鉾巡行の日)

八十周年記念式典決定

平成六年五月六日、役員会で審議、学校側でも記念事業委員を持ち検討され、左のような案が決まりました。記念講演の講師は英国在任の同窓生です。

参加ご希望の方は事務局に詳細を問い合せて下さい。
 (問合せ先 ☎二八一八一)

80周年記念式典

とき：平成6年11月5日(土)
 ところ：倉吉西高体育館
 記念講演
 講師 みえこ スチュワードさん (西高15回)
 祝賀会 倉吉シティホテル

80周年記念誌

昨年度から引続き、担任をしなからの編集作業であり、かなり難航していますが、現在約5割くらいの出来上りです。A4版ケース入、ハードカバー約五百ページの記念誌です。出版社による人力も順調ですので、式典当日に間に合おうと思います。本文はもちろん、当時の記事や写真をふんだんに載せ、見やすく編集していくつもりです。

頒布については、事務局までご連絡ください。なお、在校生全員には、記念として安くかける予定です。



あとがき

年一回の発行、同窓生に関するニュースです。同窓生の幅広い活躍ぶりを載せたいと思います。思い出、できごとなどを事務局までお送り下さい。